

## 平成 29 年度保健師実践力向上セミナー報告

(研修委員会 嶋野洋子・浅井澄代・谷戸典子・富山紀代美・森永裕美子)

平成 29 年度保健師実践能力向上セミナーを 8 月 26 日（土曜日）に実施しました。東京開催が 2 年続きましたが、全国の学会員ができるだけ参加しやすくなることを考え、本年度は大阪開催としました。開催場所の CIVI 研修センター新大阪東は、新大阪駅の東口から数十メートルという好立地にあり、新幹線等を利用される方にも便利な場所でした。

本年度のテーマは、初めての学会発表～実践を研究発表につなげる～としました。保健師活動は、「見えにくい」「わかりにくい」とよく言われます。そのような中、保健師が行っていることは何か、その中でどのようなアウトカムが生じているのかを他者に対して見せてゆくことが保健師に求められています。その中で、学会は広く他の組織の方等も含めて見せることができる場の一つと捉え、このテーマを企画しました。

午前中は大阪大学の岡本玲子先生のご講演でした。「保健師が♥成果伝える 10 のトク」—♥マークも先生のご指定です—のタイトルで、保健師が成果をなぜ伝えないといけないか、その際のポイントについて、大阪ご出身らしい語り口でわかり易くお伝えいただきました。

午後は、行政機関、産業保健分野の若手の方から、学会発表までのプロセス、その中の思い、実際に発表してみて感じた学会発表することの意義を、波及効果も含めてお話しいただきました。お二人とも非常に整理されたご発表で、「この発表自体をどこかで発表していただきたい」と、研修委員で話したことでした。そのほか、研修委員会委員が、「実践者が学会発表を行う意味」「学会発表のプロセス」についてお伝えしました。

残念なことに、定員 100 名を予定した研修会にも関わらず参加者は 40 名でしたが、参加者のアンケートからは研修に対し、大変肯定的なご意見が聞かれました。開催場所に関しても、「大阪だから参加できた」「今後も地方開催をして欲しい」というご意見も多く、今後の開催方法や場所に関しては、研修委員会や理事会で検討してゆきたいと考えています。

なお、岡本先生のご講演資料の一部は、今後、学会ホームページ会員専用ページでダウンロードできるようにしてゆく予定です。どうぞお楽しみに！

